

人文学部欧米文化学科カリキュラム

学科目群はキリスト教科目群、全学共通科目群、教養科目群、専門科目群からなっている。

卒業するためには表1のように単位を修得しなければならない。表1の単位数は卒業に必要な最低単位数である。

表1 欧米文化学科

学 科 目 群	卒業最低必要単位数					備 考			
	必修	選択必修	選択	小計	自由選択		合計		
キリスト教科目群	キリスト教基礎科目	4			12		*1留学生の語学科目履修方法はP.173～176参照		
	キリスト教関連科目		4						
	キリスト教専門科目	4							
全学共通科目群	英語科目	8	} 8*2	20		37	124	*2英語科目（必修を除く）、第二外国語より6単位選択必修※ECA（「留学生のための英語」を除く）かつ、ドイツ語Ⅰ、フランス語Ⅰ、スペイン語Ⅰ、イタリア語Ⅰのいずれか1外国語2単位選択必修	
	第二外国語科目								
	デジタル・シティズンシップ科目	2							
	スポーツ科目								
	キャリア関連科目	1	1						
	日本社会・地域学科目								
	サービスラーニング科目								
海外研修科目									
教養科目群	人間理解への基盤を学ぶ		} 8*3	8		37	124	*3 8単位選択必修	
	社会理解への基盤を学ぶ								
	自然理解への基盤を学ぶ								
専門科目群	基礎学科学科目群	3	} 36	47		37	124	教職関連科目は一部卒業要件の外	
	地域文化科目群								4
	思想科目群								
	歴史科目群								
	文学科目群								
	芸術科目群								
	コミュニケーション科目群								
	言語・英語教育科目群								
	上級科目群								
	関連科目群								
	教職関連科目								
演習科目	4								
合 計	26	25	36	87	37	124			

1. 用語の説明

- 卒業要件**＝卒業するために必要な条件
- 必修**＝当該科目の履修が卒業要件となっているもの。
- 選択必修**＝いくつかの授業科目の中から一定単位履修することが卒業要件となっているもの。
- 選択**＝卒業に必要な単位数として数えられるが、「必修」でも「選択必修」でもないもの。
- 開講期**＝春：春学期に開講される科目
 秋：秋学期に開講される科目
 通年：1年を通じて開講される科目
 集中：特定の曜日／時限以外、あるいは上記の通常講義期間以外で行われる授業。
 別途日程を調整したうえで実施する。
- 印：週1回授業
 ◎印：週2回授業

対象学年＝科目を履修することができる年次が記されている。1年次生では2年次以上に配当されている科目の履修はできない。2年次生以上は原則として1年次生配当の科目を履修することができる。

人数制限科目＝履修希望者が集中した科目について、人数制限をする。

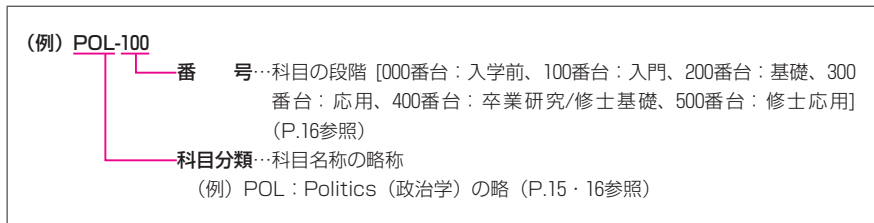
ステップアップ＝ローマ数字が記載されている科目は、ステップアップ科目と呼び、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修しなければならない。

2. 科目ナンバリング

本学では「**科目ナンバリング**」を導入している。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けとなる。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**段階を表す番号**」の**組み合わせ**で表記される。



科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されている。

3. 各学期において履修できる単位数は24単位を上限とする。

ただし、認定科目は上限単位に含まれない。

4. 自由選択科目について

卒業に必要な最低単位数124単位から、キリスト教科目群の最低単位数、全学共通科目群の最低単位数、教養科目群の最低単位数および専門科目群の最低単位数を除いた単位を自由選択科目と呼ぶ。これは、キリスト教科目群、全学共通科目群、教養科目群、専門科目群、総合科目群、他学部・他学科の専門科目群のいずれから履修してもよい。

5. 以下の科目に関しては、クラスが指定されているので、確認の上履修すること。

キリスト教概論A、情報基礎、英語科目、第二外国語Ⅱ（留学生科目）、基礎ゼミA・B